

こころとからだのしくみ

問題 97 ライチャード(Reichard, S.)による老年期の性格類型において、円熟型に該当するものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自分の過去に対して自責の念を抱く。
- 2 年を取ることをありのまま受け入れていく。
- 3 若いときの積極的な活動を維持する。
- 4 他者の援助に依存する。
- 5 責任から解放されることを好む。

問題 98 臓器とその機能の組合せとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 肝臓 —— グリコーゲン(glycogen)の貯蔵
- 2 膀胱^{ぼうこう} —— 尿の濃縮
- 3 小脳 —— 呼吸中枢
- 4 副腎 —— インスリン(insulin)の分泌
- 5 心臓 —— ガス交換

問題 99 唾液腺と唾液に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 副交感神経は唾液分泌を抑制する。
- 2 唾液分泌は食事摂取時に限られる。
- 3 耳下腺の導管は口腔底に開口する。^{こうくうてい}
- 4 唾液には抗菌作用がある。
- 5 舌下腺は小唾液腺である。

問題 100 良肢位に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ADL (Activities of Daily Living : 日常生活動作) に最も支障が少ない姿勢である。
- 2 肘関節^{ちゅうかんせつ}を伸ばした姿勢である。
- 3 つま先が下を向いた姿勢である。
- 4 拘縮を起こしやすい姿勢である。
- 5 クッションを用いた保持は避ける。

問題 101 胃ろうに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ろう孔周囲のびらんは、放置してよい。
- 2 ろう孔は、カテーテルの抜去後、およそ1時間で自然に閉鎖する。
- 3 カテーテルの交換は不要である。
- 4 ミキサー食の注入は禁止されている。
- 5 経口摂取も併用できる。

問題 102 Dさん(75歳, 女性)は, 介護老人福祉施設に入所している。糖尿病(diabetes mellitus)があり, インスリン療法を受けている。2日前から風邪をひいて, 食事量が普段の半分程度に減っていたが, 医師の指示どおりインスリン注射を継続していた。介護福祉職が朝食をDさんに渡そうとしたところ, 顔色が悪く, 「胸がドキドキして, ふわふわする」と話し, 額には汗が見られた。

考えられるDさんの状態として, ただちに医療職に相談しなければならないものを1つ選びなさい。

- 1 発熱
- 2 脱水
- 3 低血糖
- 4 貧血
- 5 意識障害

問題 103 皮膚の乾燥に伴うかゆみに関する次の記述のうち, 適切なものを1つ選びなさい。

- 1 高齢者では, まれである。
- 2 水分摂取を控える。
- 3 顔面に好発する。
- 4 利用者の爪は短く切る。
- 5 皮膚をかくことで軽快する。

問題 104 入浴介護に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 家庭内での不慮の事故死のうち、入浴関連はまれである。
- 2 心臓に疾患のある人には、全身浴を勧める。
- 3 浴槽からの立ち上がりは、ゆっくり行う。
- 4 食後すぐの入浴を勧める。
- 5 入浴後、水分摂取は控える。

問題 105 排便の仕組みに関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 仰臥位ぎょうがいは、排便しやすい姿勢である。
- 2 交感神経は、直腸ぜんどううんどうの蠕動運動を促進させる。
- 3 食事をとると、便意はおさまる。
- 4 息を吐きながら腹圧を低下させると、排便は促される。
- 5 排便時には、外肛門括約筋がいこうもんかつやくきんを意識的に弛緩しかんさせる。

問題 106 睡眠に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 加齢に伴って睡眠時間は短くなる。
- 2 睡眠障害の多くは遺伝性である。
- 3 過眠は睡眠時間が長くなることをいう。
- 4 睡眠中は体温が上昇する。
- 5 睡眠周期は約 60 分である。

問題 107 睡眠に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 高齢者の中途覚醒は、水分の摂りすぎが原因である。
- 2 レストレスレッグス症候群(restless legs syndrome)は、下肢を動かすと症状が軽快する。
- 3 仰臥位で眠ると、いびきぎょうがいが改善する。
- 4 睡眠時間の確保には、寝だめが有効である。
- 5 熟睡するには、就寝前の飲酒が有効である。

問題 108 Eさん(75歳、男性)は、2年前に肺がん(lung cancer)と診断されて、抗がん剤治療を受けていたが、効果がなく1か月前に治療を中止した。その後、日常生活に支援が必要となり、訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用することになった。訪問介護員(ホームヘルパー)は初回訪問を終えて帰ろうとした時に、いきなりEさんから、「もう来なくてもいい」と厳しい口調で言われた。また、「どうして私だけが、がん(cancer)にならなければならないのか」という言葉も聞かれた。

Eさんの心理状態について、キューブラー・ロス(Kubler-Ross, E.)が提唱した心理過程の段階として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 否認
- 2 怒り
- 3 取り引き
- 4 抑うつ
- 5 受容